

建設候補地の決定に伴う住民説明会

次 第

- | | |
|--------|--------|
| 1 開会 | 4 質疑応答 |
| 2 あいさつ | 5 その他 |
| 3 説明事項 | 6 閉会 |

熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会

(1) 廃棄物処理の現状と広域化の経緯について

『近年の廃棄物処理における課題点』

- ごみの排出量の増加
- ごみの多様化による適正処理の困難
- 最終処分場の確保難
- 町村財政の圧迫
- 資源の枯渇を回避するためのリサイクルの促進
- 地球温暖化などの環境問題
- 多発する自然災害による廃棄物の増加

(1) 廃棄物処理の現状と広域化の経緯について

平成30年4月現在

『現在稼働中の廃棄物処理施設一覧』

施設区分		西原村	益城町	嘉島町	御船町	甲佐町	山都町
ごみ 処理 施設	施設名	益城クリーンセンター			御船甲佐クリーンセンター		小峰クリーンセンター
	組合名	益城、嘉島、西原環境衛生施設組合			御船町甲佐町衛生施設組合		山都町直営
	稼働期間	平成元年4月～ 29年間稼働			平成2年4月～ 28年間稼働		平成2年4月～ 28年間稼働
し尿 処理 施設	施設名	西原村のし尿・浄化槽汚泥は、阿蘇広域事務組合で処理を行っている	環境クリーンセンター				千滝クリーンハウス
	組合名		御船地区衛生施設組合				山都町直営
	稼働期間		平成2年10月～ 27年間稼働				平成6年3月～ 24年間稼働
最終処分場	管内に埋立可能な最終処分場はなく、現在埋立処分対象ゴミはすべて民間業者へ処理委託している						

Point

- ・管内の5つの施設につきましては県内でも最も古く、すべての施設が稼働から二十数年経過していることから、耐用年数の面からみても建て替えが必要な状況です。

(1) 廃棄物処理の現状と広域化の経緯について

『これまでの取り組み状況』

平成14年	一部事務組合の統合に関する調査研究
平成22年	//
平成24年	益城、嘉島、西原、御船、甲佐の5町村で 統合に向けた事務レベル勉強会の開始
平成25年	益城、嘉島、西原、御船、甲佐5町村で 熊本中央広域事務協議会を設置
平成26年	5町村の広域事務協議会に山都町が加入
平成27年	熊本中央広域事務協議会改め、熊本中央 一般廃棄物処理施設整備促進協議会の設置
平成28年	候補地選定の事前調査(活断層調査)の実施
平成29年	建設候補地の募集、選定
平成30年	建設予定地の決定 西原村の協議会からの離脱

Point

- ・ゴミ処理施設に関する課題（用地確保、処理の効率化、事業費の確保等）に対応するため、広域的な整備を行うことを目標とし、様々な協議を経て、平成30年5月までに建設候補地の決定を行いました。

(1) 廃棄物処理の現状と広域化の経緯について

『整備予定の施設について』

ごみ処理施設、リサイクル施設、汚泥再生処理センター、最終処分場の4施設を1箇所に一体的に整備することを目標としています。



※各施設の処理方式や施設規模は、今後の人口推計・ごみの排出量の推計から算出し、どのような施設・設備を整備するかについては、今後、検討していきます。

(1) 廃棄物処理の現状と広域化の経緯について

『環境に及ぼす影響などについて』

建設にあたっては環境アセスメントなどを経て、周辺環境に配慮した整備を行います。また、施設稼働後も各施設から排出されるガスや排水などは国、県で定められている厳しい環境基準に適合する施設を整備します。



(2) 今後のスケジュールについて

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37
地域住民説明会								
用地調査・測量								
地権者説明会								
用地交渉								

施設の詳細等を検討していく中で、随時、報告、説明会を開催させていただきます。

今年度、10月頃を目途に用地調査、測量のため現地に入らせていただきます。詳細な買収の範囲については、この調査結果などを踏まえて、確定します。

用地の範囲が確定しましたら、H31年度中を目途に地権者への説明会を実施します。

地権者様への説明会を実施し、その後用地交渉を進めていく予定としております。

Point

- ・ 目標では新たな処理施設の稼働時期を平成37年度としていますが、熊本地震や、その後の大雨等の自然災害によって各町の財政状況は想定以上に厳しくなっているため、建設工事への着手時期については、各町の財政状況を勘案しながら検討してまいります。